

総

括

質

疑

9月定例会では、決算審査特別委員会において各会派の代表が、令和元年度決算について一問一答方式による質疑を行いました。

ここでは、その質疑の一部を掲載します。

(決算審査特別委員会小委員会での審査)



福祉

富田 達也

輝(かがやき)

問 公立保育所の役割の1つに子どもの発達支援がある。少子高齢化が進む中、発達支援などを行うために、公立保育所を幾つ残すべきか検討しなければならぬと考えるがどうか。

答 将来的に公立保育所を幾つ残すべきかの答えを、今出すのは難しい。保育の質と量を残すためには、コストパフォーマンスも考えながら、今後の施設整備の段階で判断することが重要と考える。



防災

綿谷 正巳

輝(かがやき)

問 日本全国ではさまざまな災害が発生しており、本市でもその備えをしっかりとっておかなければならない。本市の防災協定の締結状況は、どのようなになっているか。

答 防災協定は、避難所開設に係るもの、物資供給、輸送関係、消防関係、他自治体との相互応援に係るものなど、現在合計で71件締結している。また、協定先は、行政機関が13件、民間団体が58件となっている。



教育

進藤 裕之

輝(かがやき)

問 新たな日常の到来を見据えた教育のICT化推進の大きな方向性について、本市の考えはどうか。

答 学校教育の現場では、タブレット端末をペンなどと同じ学習ツールの1つとして、学習を有効に進めるための手段であるということ徹底したい。今後、教育現場のICT化推進をさらに図り、子どもたちが持続可能な社会の作り手となるよう、一層の教育向上に努めていきたい。



地域振興

中小路 貴司

平成市民クラブ

問 新しい生活様式が始まり、イベント開催には、3密回避のために運営や広報を工夫しなければならぬ。ライブ映像などの配信強化のため、機材などが必要と考えるがどうか。

答 現在、映像づくりには特に力を入れており、外部委託をするか、職員などでつくるかを仕分けながら検討している。職員でつくる場合に必要となる機材があれば、そろえていかなければならないと考えている。



地域振興

小野 洋史

平成自由クラブ

問 農家の高齢化や担い手不足などから、農業者人口が年々減少している。このような中、本市の今後の特産物育成事業についての考えはどうか。

答 特産物育成事業は、ナス、花菜、タケノコの3品目を中心として、ブランド維持などの支援を今後も取り組んでいく。また、新たな特産物の創造では、マーケティングの観点とあわせて、農家の方と次の戦略に向けた話し合いが必要と考えている。



防災

富岡 浩史

平成自由クラブ

問 令和元年度は、平年を上回る数の台風が発生し、5個が上陸した。今後、市として、昨年度の台風の教訓をどのように生かすのか。

答 台風接近前には、気象警報の発表を予想し、職員向けのメールなどで配備体制、初動体制が遅れないよう取り組んでいる。また、災害発生が予想される場合には、事前に危険箇所などを重点的にパトロールして、必要な物資などの調整をしている。



上下水道

山本 智

公明党

問 一つ災害が起こるか分からない中、今後は老朽管の更新が重要になると考える。水道管などの水道施設の老朽化対策についての考えはどうか。

答 水道施設整備は、上下水道ビジョンの安全・強靱・持続の三つの柱に基づき、浄水場の耐震補強工事などを進めていく。また、老朽管の更新や、水道管の耐震化などを行い、将来に向けた水道施設の整備計画の策定にも取り組んでいきたい。



防災

石井 啓子

公明党

問 コロナ禍の中、避難所の感染症蔓延防止のため、換気やスペースの確保など、感染症対策に配慮した避難所運営の在り方について、まとめておく必要があると考えるがどうか。

答 3密回避のために、避難所内の十分な換気やスペースなどに配慮した避難所運営マニュアルを作成している。また、マスクや消毒液などの追加備蓄やポータブル電源や間仕切りセットなどの整備にも努めている。



福祉

白石 多津子

平成西山クラブ

問 介護保険の保険者機能強化推進交付金での本市の評価や、高く評価された点はどのようなものだったか。

答 令和元年度の評価は、京都府内で1位であった。評価の視点は、自立支援重症化予防などに資する施策の推進や、介護保険運営の安定化に資する施策の推進などである。その中で、介護予防や認知症施策に早期から力を入れて取り組んできた点が高評価を受けたものと考えられる。



環境

上村 真造

平成西山クラブ

問 フードバンク長岡京では、食品ロスとしてまだ食べられる食品を家庭などから持ち寄り、福祉施設などに提供するフードドライブの活動をしている。活動の周知などのため、定期的に公共の場所を提供できないか。

答 フードドライブの定期開催は、食品ロス削減に非常に有効だと考える。定期的な開催には、団体の協力も必要になるが、公共の場所での開催に向けて調整していきたい。



行財政

広垣 栄治

日本共産党

問 コロナ禍で困っている方がいる中で、市税の猶予件数は、国民健康保険料の減免件数より少ない。国民健康保険料には減免があるが、市税の減免はできないのか。

答 市税の減免ができないということではない。また、猶予まで至らなくても、分割納付という対応もしている。まずは、納税相談に来ていただき、相談に乗る中で、制度の案内をしている。



教育

二階堂 恵子

日本共産党

問 直営の放課後児童クラブには、パソコンやインターネット環境がない。指導員が事務を行うためにも、パソコンなどの導入が急がれるがどうか。

答 現在、放課後児童クラブの待機児童を出さないために、優先度の高い施設の建て替えなどを行っている。今後、他事業の進捗状況も勘案しつつ、放課後児童クラブの業務効率化の観点から、ICTの環境整備が必要かどうか研究していきたい。



上下水道

浜野 利夫

日本共産党

問 民間の電気、ガス事業者は、生活保護世帯や独り暮らしの高齢者等に直接接触されるまで、供給停止をしない。水道事業についても、直接対話など、本人と接触ができるまでは、給水停止を待てないのか。

答 給水停止を行うまでに、電話や現地訪問、夜間訪問を含めて対応している。さらに福祉部局と連携し、生活状況を把握した上で、最終的に給水停止に至るケースがある。

総括質疑とは？



決算審査特別委員会には、分野ごとに審査する「分科会」と決算議案全体を一括して審査する「小委員会」があります。小委員会では、各会派から選任された委員が、それぞれ一人あたり30分の持ち時間で、一問一答方式の質疑を行います。これを「総括質疑」と言います。